

【全体概要】

ここ数年、花き流通のトレンドに変化が見られ、マーケットからはトレンドに合った品目の供給が求められており、ラナンキュラス「ラックス」シリーズや切り花サイネリアといった県内育種家が育成した品目の県内産地化が期待されている。

そこで、当該品目の県内産地化に向けた試験栽培等を行うことにより、マーケットニーズへの対応を目指す。

新品種・新技術等の概要

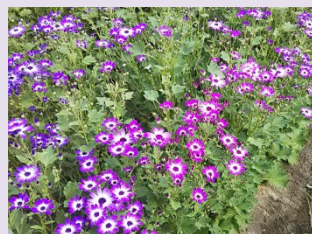
○ラナンキュラス「ラックス」シリーズ

(有)綾園芸により開発された品種であり、長野県や大分県など一部地域において普及しているものの、本県においては普及していない。



○切り花サイネリア

本県育種家が育成した鉢物用サイネリアの切り花化に宮崎県総合農業試験場が成功したことから、今後の産地化が期待される。



主な取組内容

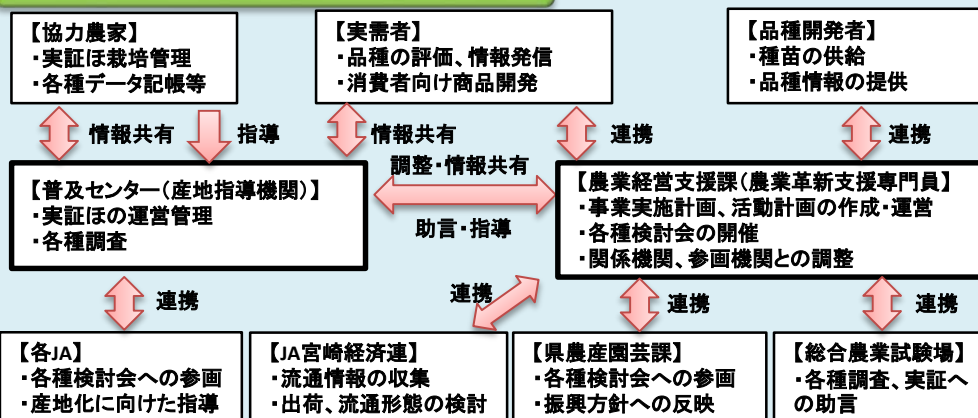
【検討会の開催】

- ・実証ほ設置検討会(1回)
- ・実証ほ現地検討会(1回)

【マッチング活動の実施】

- ・マッチング等検討会(1回)
- ・マーケット意見交換会(1回)

実施体制図



課題と今後の対応

【実証結果等の概要】

- ・ ラナンキュラス「ラックス」シリーズについては、長日処理により年内からの収穫をできることが明らかとなったが、切り花サイネリアは3月からの収穫となったことから、早期開花技術の確立が課題として残った。
- ・ 実需者等との意見交換会を通じて、両品目のマーケットニーズや今後の見通しを把握することができた。

【今年度の取組】

- ・ 現地試験(2年目)を行い、開花特性等について引き続き調査する。